

待望の「法華思想仏教文献」の古典的名著を現代語訳

天台大師智顛の三大部

『法華玄義』(菅野博史 訳注)

『法華文句』(菅野博史 訳注)

『摩訶止観』(菅野博史 訳注)

妙楽大師湛然の天台三大部注釈書

『法華玄義釈籤』(菅野博史・松森秀幸 訳注)

『法華文句記』(菅野博史・松森秀幸 訳注)

『止観輔行伝弘決』(菅野博史・松森秀幸 訳注)

伝教大師最澄の著作

『顕戒論』(前川健一 訳注)

『法華秀句』(前川健一 訳注)

『守護国界章』(前川健一 訳注)

『現代語訳 法華玄義(上)』より

偉大な教え(仏法)が東方「の中国」に流伝し、「『高僧伝』などの」僧侶についての歴史書に掲載されたものなだけで、どれほどの人が講義を聞かずに、自分自身で仏乗(『法華経』の教えを理解したであろうか。…たとい出家者と在家者が仰ぎ尊んだとしても、『法華経』の円かな意義を深く覚ったであろうか。…

我が智者(天台大師智顛)だけが「以上のような」多くの功徳を備えている。…後代の修行者は、甘露の文涅槃に入るための仏の教えが「どこにある」ことを知るであろう。

灌頂

『法華経』は古来、東アジアの仏教世界において、広範囲に信仰され、社会的・文化的にも大きな影響を与え続けてきた。

この法華思想の系譜にあって特に著名な注釈書、思想書を著し、後世に甚大な影響を与えたのが中国の智顛、湛然、日本の最澄である。この法華思想の系譜は、後世の日蓮へと引き継がれ、日蓮教学の基礎理論を提供する重要な仏教文献となるのである。

これらの仏教文献は『大正新修大蔵経』等に収録されており、原典は漢文である。そのため現代人にも理解できるよう現代語訳し、その思想の全貌を蘇らせることは仏教研究者のみならず、法華経に関心を持つ読者にとって待望久しいものであった。

当研究所の三人の研究員が、これらの原典の現代語訳を進めている。この主要な法華思想仏教文献の現代語訳の出版が未来への思想的財産として、混迷を深める現代社会にその仏教の豊かな智慧の光明を提供するものとなることを願うものである。

公益財団法人東洋哲学研究所



現代語訳 法華玄義（上）

菅野博史 訳注

A5判 624頁 上製

定価：本体 6,000円 + 税

ISBN：978-4-88596-047-5 C1315

※下巻は2019年7月発刊予定

〈 東洋哲学研究所の定期刊行物 〉

東洋学術研究

年2回発刊 定価：本体 1,238円 + 税

東洋思想の総合的学術誌。東洋思想、仏教思想のみならず、環境、平和、宗教間対話、人権、生命倫理、ジェンダーなど今日的課題にも幅広い視点で取り組んでいる学術誌。

The Journal of Oriental Studies

『東洋学術研究』英語版 年1回発刊 定価：本体 2,000円 + 税

※バックナンバーの詳細については、当研究所のホームページをご参照ください。

公益財団法人東洋哲学研究所

〒192-0003 東京都八王子市丹木町1-236

電話: 042-691-6591(代表) / FAX: 042-691-6588

振替: 00130-7-122394 <http://www.totetu.org/>

《お求め方法》

お近くの書店に注文してください。

《東哲叢書》

仏典現代語訳シリーズ I

智顛説

現代語訳 法華玄義（上）

菅野博史 訳注

『法華玄義』（『妙法蓮華経玄義』）全十巻は、天台大師智顛の講説を、弟子の章安大師灌頂が整理し書物とし、師匠の偉業を後世に伝えたもの。

天台三大部（『法華玄義』『法華文句』『摩訶止観』）の一つとして、『法華経』

の注釈書のなかで、古来もっとも多く読み継がれてきた。

『現代語訳 法華玄義（上）』は巻第一上から巻第五下までを現代語訳し、語注をつけて収録

定価… 本体 6000円 + 税

A5判 上製 624頁

2018年11月発刊

公益財団法人東洋哲学研究所